

CASBEE-広島 (2010年ver.1)
ロイヤルシティビュー牛田本町

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.9
Q1 室内環境			0.40			3.3
1 音環境		2.6	0.15	3.2	1.00	3.0
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40	
1 暗騒音レベル	複層ガラス採用。	3.0	1.00	3.0	1.00	
2 騒音対策			-		-	
1.2 遮音		3.0	0.40	3.5	0.40	
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能	壁厚275mm。		-	4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	LL-45を採用。		-	4.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	3.0	0.20	
1.3 吸音		1.0	0.20	3.0	0.20	
2 温熱環境		4.0	0.35	3.0	1.00	3.2
2.1 室温制御		4.0	1.00	3.0	1.00	
1 室温設定		-	-	-	-	
2 暑熱対策・遮熱性能	遮熱低放射複層ガラス採用。		-		-	
3 外皮性能		4.0	1.00	3.0	1.00	
4 ゾーン別制御性			-		-	
5 温度・湿度制御			-		-	
6 湿度制御			-		-	
7 時間外空調に相当する配慮			-		-	
8 気流・放射			-		-	
2.2 湿度制御		-	-	-	-	
2.3 空調方式		-	-	-	-	
3 光・視環境		3.0	0.25	3.8	1.00	3.6
3.1 昼光利用		3.0	0.43	4.6	0.50	
1 昼光率	住居部分9%	-	-	5.0	0.50	
2 方位別開口			-	5.0	0.30	
3 昼光利用設備		3.0	1.00	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		-	-	3.0	0.50	
1 遮光対策			-		-	
2 昼光制御	住居部分にカーテン。	-	-	3.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.21	-	-	
1 照度		3.0	1.00	-	-	
2 照度制御			-		-	
3.4 照明制御		3.0	0.36	-	-	
4 空気質環境		3.8	0.25	3.5	1.00	3.5
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質	ほぼ全面的にF☆☆☆☆、低VOCの材料を採用。	4.0	1.00	4.0	1.00	
2 化学汚染物質			-		-	
3 化学汚染物質			-		-	
4 化学汚染物質			-		-	
4.2 換気		3.5	0.40	2.6	0.38	
1 換気量	建築基準法、建築物衛生法を満たす換気量の1.2倍以上。	4.0	0.50	4.0	0.33	
2 自然換気性能			-	1.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4 換気設備			-		-	
4.3 運用管理			-		-	
1 CO ₂ の監視			-		-	
2 喫煙の制御			-		-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	2.8
1 機能性		3.0	0.40	2.0	1.00	2.2
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.60	1.0	0.60	
1 広さ・収納性			-		-	
2 高度情報通信設備対応			-	1.0	1.00	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.40	3.5	0.40	
1 広さ感・景観	天井高2.5m。		-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース			-		-	
3 内装計画	インテリアパースを作成し計画。	3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理			-		-	
1 維持管理に配慮した設計			-		-	
2 維持管理用機能の確保			-		-	
2 耐用性・信頼性		3.2	0.31	-	-	3.2
2.1 耐震・免震		3.0	0.48		-	
1 耐震性		3.0	0.80		-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.9	0.33		-	
1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級3相当。	5.0	0.23		-	
2 外壁仕上材の補修必要間隔	磁器タイル 40年。	5.0	0.23		-	
3 主要内装仕上材の更新必要間隔		3.0	0.09		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23		-	

2.3 適切な更新								
2.4 信頼性				3.0	-		-	
1	空調・換気設備			3.0	0.19		-	
2	給排水・衛生設備			3.0	0.20		-	
3	電気設備			3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法			3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備			3.0	0.20		-	
3 対応性・更新性				2.8	0.29	3.4	1.00	3.2
3.1 空間のゆとり					-	3.8	0.50	
1	階高のゆとり				-	5.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ				-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				2.8	1.00		-	
1	空調配管の更新性			3.0	0.17		-	
2	給排水管の更新性			2.0	0.17		-	
3	電気配線の更新性			3.0	0.11		-	
4	通信配線の更新性			3.0	0.11		-	
5	設備機器の更新性			3.0	0.22		-	
6	バックアップスペース	維持管理対策等級2以上。更新対策等級2以上。		3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30		-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	要綱遵守。近隣住民への配慮。		3.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	ピロティ、緑地あり。		3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.8
1 建物の熱負荷抑制			高断熱・複層ガラス。	3.0	0.40		-	3.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.20		-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50		-	
2.2	自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化			エコキュート設置。	5.0	0.40		-	5.0
4 効率的運用					-		-	-
4.1	モニタリング				-		-	
4.2	運用管理体制				-		-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護				3.4	0.15		-	3.4
1.1	節水	節水型便器の採用。		4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用				3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	1.00		-	
2	雑排水再利用システム導入の有無				-		-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.0	0.63		-	3.0
2.1	材料使用量の削減			3.0	0.07		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		3.0	0.20		-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	断熱材		3.0	0.20		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.05		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.4	0.22		-	3.4
3.1	有害物質を含まない材料の使用	ほぼ全面的にF☆☆☆☆、低VOCの材料を採用。		3.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.6	0.68		-	
1	消火剤	ハロン不使用。		4.0	0.33		-	
2	断熱材			3.0	0.33		-	
3	冷媒	自然冷媒使用。		4.0	0.33		-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.8
1 地球温暖化への配慮			CO2が排出されにくくなっている。	5.0	0.33		-	5.0
2 地域環境への配慮				3.0	0.33		-	3.0
2.1	大気汚染防止	燃焼機器不使用。		5.0	0.25		-	
2.2	温熱環境悪化の改善			2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減			-	-		-	
2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.33		-	
3	交通負荷抑制	機械式駐車設備により住戸数分の駐車台数を確保。		4.0	0.33		-	
4	廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.33		-	
3 周辺環境への配慮				3.4	0.33		-	3.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40		-	
1	騒音			-	-		-	
2	振動			-	-		-	
3	悪臭			3.0	1.00		-	
3.2 風害、日照阻害の抑制				3.3	0.40		-	
1	風害の抑制			3.0	0.70		-	
2	日照阻害の抑制	日影規制に対して1ランク上の基準を満たしている。		4.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制				4.4	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明無し。		5.0	0.70		-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	